

東大EMP第17期プログラム 最終報告発表 概要

(2017年9月9日)

チーム・メンバー	課題テーマ	タイトル	概要
[チーム1] 秋山 雅孝 池田 孝根 山藤 敦史 境崎 正俊 藤井 秀明 牧 英和	健康的で活力のある 超高齢化社会経営	人生丸ごとデザイン	<p>「人生100年」時代がやってくる。しかし私たちには長くなった人生の設計モデルがない。いずれは来る老年期。特別視せず若い時から続く一期間として捉えることで、超高齢社会が課題であり続ける「停滞国家・日本」から、人生の各ステージが伸びる超長寿を強みとする「輝く・日本」を目指す。高度成長期に確立された社会システム、具体的には、「働き方」、「学び」、「健康」、「住まい」、「お金」それぞれの制約を解放し、人生100年に相応しい生き方を節目節目で考え、選択することができる社会像を提言する。</p>
[チーム2] 北口 善教 角森 一博 田路 勇樹 橋詰 友二 福永 庸明	資源・エネルギー活用 の規律による環境保 全	規律ある農業に根ざした持 続可能な水利用の実現	<p>水は生命の源であり、人間にとっても欠かせないものである。一方、水はコモディティとして安く大量に利用され、世界的にも水利用の失敗により持続的な循環を破壊してしまう事例は少なくない。特に、世界における淡水利用の過半を占める農業は、先進国・途上国を問わず、地域の水需給に大きな影響を及ぼしてきた。折しも、地球温暖化による乾燥・干ばつの発生と、途上国を中心とする爆発的な人口増加は、世界規模の食料需給を不安定にさせ、世界の政情不安の一因ともなった。また、食料の純輸入国である我が国にとっても、穀物価格の高騰は、我が国の食料需給体系に対する懸念を惹起するものであった。</p> <p>SDGsにおいても記述がされているように、資源としての水の利用を見直し、持続的で適正な水利用を実現することは、人類が将来にわたって繁栄を続けるために避けることのできない課題となっている。我々は、特に水の最大の需要部門である農業のあり方に着目し、この課題に取り組むこととした。</p> <p>我々は、持続的に水が利用されている状態とはどのような状態か、それを実現する地域の農業の姿はどのようなものかを分析するために必要な指標を考察し、偏在する水資源を広域的な視点でマネジメントする社会システムを提案するとともに、公共の精神をもってコモンズである水を管理し、必要な投資をしていく社会像を考案することを目指す。こうした社会システムの中で、海水の淡水化技術を初めとした水に関する我が国の先導的な技術や、入会権に見られるように水をコモンズとして共同管理する我が国独自の制度が、世界における持続的な水の利用の実現に貢献していくものと考えている。</p>



<p>[チーム4] 倉林 陽 須崎 彩斗 橋 秀治 松本 哲哉 矢澤 聡子 吉村 公一</p>	<p>多様な宗教、文化、政治を前提とした共通行動規範確立</p>	<p>『多様な宗教、文化、政治を前提とした共通行動規範確立-「美」の追求』</p>	<p>多様な宗教・文化・政治の上に生活する人たちとの交流が日常茶飯事となり、夫々の価値観の違いに直面することが増えてきた。その違いを理解し折り合いをつけることが難しいケースでは様々なコンフリクト(衝突)が発生している。 社会的動物である人間は様々な規範の中で生活しているが、様々なバックグラウンドをもった人や集団は夫々その違いをどう受け止めれば良いのか。衝突をさける為にはどのような規範があれば良いのか。 大きなテーマではあるが、この夏、チーム4の6人は、そもそも「規範とは何か」の検討から始め、正面から真剣に取り組んだ。 社会的規範ではなく個人的規範に解決への端緒を見出し、共通行動規範の確立に向け、個々人がどのような行動を心がけるのが良いのかを提案する。</p>
<p>[チーム5] 浅野 昌道 井上 健太 加藤 直子 藤井 達人 八木橋 麻美</p>	<p>先端科学・技術の効用前提での新世界観の形成</p>	<p>成熟時代における科学・技術と社会</p>	<p>科学・技術は驚異的なスピードで発展を続けているが、人間の知識がそれに追いついていない。かつて、技術は科学によって検証が可能であったが、現在の最先端の技術は人間が把握できないまま進展を続けている。 そこで、チーム5では、科学と技術の発展の歴史や様々な科学・技術の領域で拡大する現在の不安を概観した上で、科学だけでは解決できない「トランスサイエンス領域」について社会を巻き込んだ議論や、科学者や市民の教育の必要性、また国立大学がこの課題にどう貢献し得るかについて述べる。 併せて、効率化や迅速化を軸とした成長の時代から今後の成熟社会に向けて、我々がどのような意識を持って科学技術と付き合うべきかを考えてみたい。</p>